

■ 迫る南海トラフ地震。巨大地震に対するサステイナブル(持続可能)な策とは? ■ 環境省 環境研究総合推進費 補助金 関西大学 公開シンポジウム 「われわれは巨大地震にどう備えどう向き合うべきか。」を開催

【日 時】2月24日(金)13:00 ~ 16:40

【場 所】グランフロント大阪 北館タワーB10階 ナレッジキャピタルカンファレンスルームタワーB RoomB05+06

このたび関西大学では、徳島大学地域創生センターと共催で、南海トラフ地震等の巨大地震への対応策を議論する公開シンポジウム「われわれは巨大地震にどう備えどう向き合うべきか。」を、2月24日(金)13:00より、グランフロント大阪・ナレッジキャピタルにて開催します。

本シンポジウムでは、阪神・淡路大震災および東日本大震災において貴重な経験を持つ有識者を招き、南海トラフ地震に向けた分析・対応事例もふまえて、今後の巨大地震に対するサステイナブル(持続可能)な策を議論することを目的としています。

阪神・淡路大震災や東日本大震災を経験した日本は、近い将来に高い確率で発生するとされる南海トラフ地震等の巨大地震に対して、サステイナブルな適用策を講じることが要求されています。また、熊本地震をはじめとして各地で被害が発生している事例も多くあり、これらをふまえた実効性のある方策を整えていく必要性もあります。

当日は、災害後のいち早い復興のために求められる適応策の中で、特に必要性が高いとされている災害廃棄物処理に軸足を置きながら、基調講演や報告・パネルディスカッションを通して、パネリストや参加者の方々とともに総合的な観点から巨大地震に対する適応策の理解を深めます。

つきましてはご多忙の折恐縮ですが、本シンポジウムに関しまして、取材のご検討をお願い申し上げます。

記

【日 時】 2月24日(金) 13:00 ~ 16:40 <12:30 受付開始>

【場 所】 グランフロント大阪 北館タワーB 10階

ナレッジキャピタルカンファレンスルームタワーB RoomB05+06

大阪市北区大深町3-1 (JR「大阪」駅・地下鉄御堂筋線および阪急「梅田」駅から徒歩約3分)

【概 要】

- ・開会/挨拶 (関西大学 環境都市工学部 北詰 恵一 教授、一般社団法人 国際環境研究協会 石井 克明 氏)
- ・基調講演 『南海トラフ地震に向けた徳島での事前防災の取り組み』
(徳島大学大学院理工学研究部 山中 英生 教授)
- ・報 告 (報告1) 阪神・淡路大震災の災害廃棄物処理で得られた教訓とその活用
(公益財団法人 国際エメックスセンター 専務理事 築谷 尚嗣 氏)
(報告2) 社会リスクをふまえたサステイナブルな適用策評価 (北詰 恵一 教授)
- ・パネルディスカッション『南海トラフ地震に向けた地域の取り組み』
(モデレーター: 関西大学 環境都市工学部 盛岡 通 教授
パネリスト: 山中 英生 教授、築谷 尚嗣 氏、北詰 恵一 教授、
鹿島環境エンジニアリング株式会社 特別顧問 塚田 高明 氏)
- ・閉会/挨拶 (関西大学 研究推進部副部長 システム理工学部 和田 隆宏 教授)

【対 象】 南海トラフ地震に備える方、各自治体防災担当の方をはじめ、どなたでも可

【定 員】 100名 (好評によりすでに定員に達したため、申込は終了しています)

【主 催】 関西大学 【共 催】 徳島大学地域創生センター

以 上

※取材をご希望の方は、お手数ですが下記お問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当: 石田、寺崎

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel.06-6368-1131 Fax.06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp

この伝統を、超える未来を。

